

平成30年6月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
1	吉永 浩	町民サービスの向上について	住民の利便性の向上、窓口業務の負担軽減、そして証明書交付事務コスト低減の観点から、本町において住民票の写し等が取得可能なコンビニ交付サービスの導入の検討をしてはどうか。町長の見解を伺いたい。	町長	コンビニ交付に関しては、これまで検討してきましたが、導入経費やランニングコストを算出し見合わせています。引き続きマイナンバーカードの交付推進を図りながら、検討していきます。	町民課
2		心の健康を守る取組みについて	久米島町職員に対して、ストレスチェック制度を実施したか。結果と今後の対応について伺いたい。	町長	ストレスチェックについては、平成30年3月に職員を対象に実施しました。今後の予定としましては、今年6月中に産業医を選任し、ストレスチェックの結果を返すとともに、高ストレス者のうち希望者が産業医の面談を受けれる体制を整える予定です。	総務課
3		久米島町総合計画について	本町の予算編成の指針となる久米島町総合計画における「実施計画」。3月議会においても同僚議員から質問あったが、進捗状況を伺いたい。	町長	現在、各課から実施計画の提出を受け、内容を精査中でありますので、出来る限り早い段階での公表に向けて作業に取り組んでおります。	企画財政課
4		久米島町基金について	各基金の目的と目標額の根拠を伺いたい。	町長	本町には、一般会計、特別会計で20の基金条例が制定されております。用途が限定されている基金の数が19、ある程度自由な裁量で使用できる基金が1つ、積立の上限額設定がなされている基金が5つとなっております。	企画財政課
5		町長の政治姿勢について	二期目を迎えた大田町政。マニフェストに掲げた6本の柱を、どのように進めていく考えか。また、地域との協働が不可欠な中で、これからの町づくりに町民に対しては何を求めていく考えか、町長の見解を伺いたい。	町長	ご質問にありますとおり、私のマニフェスト実現には地域のみなさまの協力がなければ達成することは出来ません。現在、民間の方々を中心に活動しているドリ-部チャレンジ等への支援をおこない、官民が一体となって共通認識の元、施策を展開できるよう取り組んでまいります。	企画財政課
6	2盛本 實	観光振興について	本町においては、平成25年度に観光振興基本計画を策定し、平成26年～30年度の5年間で観光入域客数12万人という数値目標を設定し鋭意取り組んできております。その結果、平成28年度までは年次的な数値をクリアし、このままの推移からすると平成29年度、30年度においても目標を達成することが予測されました。そこで質問ですが、平成29年度の実績及び平成30年度の見通しについて伺います。	町長	平成29年度の観光入域客数は109,742人で、対前年度比98.4%となっており、観光振興基本計画における数値目標を3,258人下回る結果となっております。平成30年度においては、前年度を下回る厳しいスタートとなっておりますが、東京直行便の運行ダイヤの変更やジェット便の座席増等、好材料もありますので、それらの環境を最大限活用できるよう努力してまいります。さらに課題となる要因の分析、改善等もしっかり行い、観光協会等関係機関とも連携を図りながら、観光振興基本計画に掲げる数値目標12万人達成に向け、取り組んで参ります。	商工観光課

平成30年6月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
7	盛本 實	前村幸秀人材育成基金の活用について	<p>前村幸秀人材育成基金活用について次の項目について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、基金の支給開始年度について</li> <li>2、支給基準について</li> <li>3、これまで何名の方が支給を受けているのか</li> <li>4、一人当たりの年間支給額について</li> <li>5、これまでの総支給額について</li> <li>6、離島留学生も支給対象になるのか</li> <li>7、将来基金の過不足対象について</li> </ol> <p>以上7点に回答をよろしく願います。</p>	教育長	<p>盛本 實議員のご質問にお答えします。</p> <p>まず、1点目の「支給開始年度」につきましては、前村幸秀人材育成基金は、平成25年度から基金の運用が開始され、国立大学に進学した生徒16人とハワイコナワエナ高校との交流事業へ参加した生徒3人に基金が交付されております。</p> <p>2点目の「支給基準」につきましては、久米島町内小学校・中学校・高等学校のいずれかを卒業し、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 国公立大学又は、国公立大学院に進学した者</li> <li>(2) 偏差値が50以上の私立大学又は、医療系大学及び医療系専門学校に進学した者</li> <li>(3) 町内の学校を代表し、海外留学若くは交流に参加する者</li> <li>(4) その他、教育長が認める者で前村幸秀人材育成基金運用審査会の決定を得た者</li> </ol> <p>以上が、支給の基準となっております。</p> <p>3点目の「支給を受けた人数」ですが、平成29年度までに、基金の支給を受けた人数は、60名になります。5年間の延べ人数では、117名になります。</p> <p>又、ハワイ交流事業につきましては、平成25年度から平成29年度実績で、15名の生徒に支給しております。</p> <p>4点目の「一人当たりの年間支給額」については、大学、専門学校、学科等に違いがありますが、平均しますと約219,000円です。また、ハワイ交流事業につきましては、約538,000円です。</p> <p>5点目の「これまでの総支給額」については、大学等への進学に対する基金は平成25年度から平成29年度支払い実績で25,690,593円、ハワイ交流事業で8,078,988円、合計33,769,586円となっております。</p> <p>6点目の、離島留学生も支給対象になるのかにつきましては、久米島高校を卒業し大学等へ進学した生徒は、条件を満たしており、離島留学生も対象となります。</p> <p>7点目の、将来起こり得る基金の過不足対象につきましては、現時点では基金に充てる原資が</p>	教育課

平成30年6月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
7					無いことから、基金処分量が減少し、翌年度の支給額に不足が起こり得ると判断された場合には、関係者を交えて基金の運用について見直し・検討すべきと考えております。	
8	2 盛本 實	移住定住推進について	「第2次久米島町総合計画」の施策の中で「移住定住促進体制の充実」に取り組むために、総務省の「地域おこし協力隊制度」を活用し「島ぐらしコンシェルジュ」を発足させ移住定住を推進しているところではありますが、これまでの成果と今後の取組について伺います。	町長	島づくりコンシェルジュを発足させ今年で3年目を迎えておりますが、初年度の平成28年に21名、29年度に17名、今年度が5名、計43名の移住が実現しております。今後におきましては、移住された方の定着、さらなる移住促進に向け、移住希望登録されている208名の方へ積極的にアプロ-チをおこなってまいります。	企画財政課
9	10 玉城 安雄	観光について	<p>施政方針で31年度から5年間の第2次観光振興基本計画を策定するとしているが、第1次観光振興計画の効果や反省も踏まえ策定に向けての基本的な考えを伺う。また公表の時期はいつごろになるか伺う。</p> <p>観光施設について伺う、真謝にある蔵元前に設置されていた公衆トイレが撤去され不便をきたしているとのことである。観光客や地域から必要性の声が聞こえる。そこで撤去に至った経緯と、今後の設置についての考えを伺う。</p>	町長	<p>本年度が最終年となる「第1次久米島町観光振興基本計画」については、計画に基づいた観光施策を展開し、平成28年度までの4カ年は、数値目標を達成する等、一定の効果が得られました。しかしながら、計画に掲げた方向性やビジョン、取り組むべき施策において実施できなかったものや課題もあったこともあり、第2次観光振興基本計画の策定においては、第1次計画での効果や課題をしっかりと分析、検証し、本町の「弱み」や「脅威」など課題の改善・解決に向けた取組みと、本町の持つ「強み」「機会」を最大限に活用した、基軸のしっかりした「久米島型観光」の構築を目指した、基本方針・具体施策・行動指針となる計画の策定に取り組めます。第2次計画については平成30年度末の策定となっており、公表は平成31年4月を予定しております。</p> <p>蔵元前トイレについては、平成23年頃に当時の真謝区長より、(1)トイレが不法投棄やゴミ捨ての場所になっている(2)観光客の利用もない(3)少年野球等の子供達も学校のトイレを使用している(4)ゲートボールの老人の方々も利用していない(5)地域としても利用しない等の事由から、早めに町の方で撤去してとの要望があり、撤去しておりますので、町としては再設置する計画はありません。</p>	商工観光課

平成30年6月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
10	10 玉城 安雄	未整備道路の整備について	30年度施政方針の中で町道の補修、改修や未整備道路の整備にも鋭意に取り組むとしている。そこで2点ほど伺う。 町道山城9号線(山城浄水場、球美の里方面道路)は道路が狭隘なうえ両側側溝にふたがなくレンタカー等の脱輪事故が多々あると聞く。また一部沈下している個所もある今後の整備計画について伺う。 町道真我里14号線(中央タイヤ方向からの侵入道路)は交通量も多く利用頻度の高い道路であるにもかかわらず未舗装道路である。整備の必要があると思うが見解を伺う。	町長	当該道路においてレンタカー等の脱輪及び道路沈下による危険性について、去る5月7日に現場において状況確認をしております。 道路整備については、久米島町水道事業基本計画において、山城浄水場送水管の更新が平成33年から34年に予定しておりますので、同事業のスケジュールに併せて検討してまいります。 道路の沈下については、平成元年に実施した山城浄水場の送水管敷設工事に起因しております。路面補修に当たっては、送水管更新事業との兼ね合いもありますので、段差解消については部分補修で対応したいと考えております。 真我里14号線を含む未舗装道路については、各所に存在することから、道路整備計画を作成し、必要性及び緊急性、財政状況等、総合的に勘案しながら検討してまいりたいと考えています。	建設課、 上下水道課 建設課
11	3 平良 弘光	事業の決定について	補助事業等の実施計画を進めて行く中で、事業の計画、審査、決定に至るまで、担当者、担当課長、幹部会議、財政、町三役で綿密な調整をして事業の実施が決定されているか。	町長	補助事業を実施する際、基本的には各担当課から企画財政課へ事業採択に関する打診があり、総合計画との関連性や経済効果、補助事業完成後のランニングコスト、財政負担等を総合的に勘案し、財政担当課から町幹部へ最終確認し、実施するかの可否について決定する流れとなっております。	企画財政課
12		久米島紬の振興について	販路拡大に向けた取り組みについて	町長	久米島紬の販路拡大については、久米島紬事業協同組合において、県内外での展示会や物産展の開催、問屋訪問セールスを行っております。町では、それら販路拡大の取り組みへ支援を行っております。	商工観光課
13		社会福祉協議会臨時職員の待遇について	今年4月から臨時職員の手当てがすべてカットされているが、その要因は。	町長	久米島町社会福祉協議会は、補助対象団体ではありますが、質問されている要因については行政として答えるべきことではないと考えています。	福祉課

平成30年6月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
14	平良 弘光	教員住宅の活用について	現在、比屋定小学校の在籍が15人と学校の存続が危ぶまれています。特に町営住宅に空き部屋がなく、将来的には地元である比屋定小学校への通学を希望しても住むところがなく、困っているとの話があります。そこで空き室のある教員住宅を有効活用することはできないか。	教育長	久米島町教職員住宅管理規則によると、住宅に入居する者の資格として、久米島町立学校に勤務する職員で入居を希望する者としてあります。 現在、島外から赴任してきた職員の内、宿舎以外のアパートに入居している職員が12名おり、現在空き室はありますが、次年度以降の人事異動で、新任教職員が教員宿舎へ入居を希望する可能性もあることや、また、教職員が病気休職や育児休暇を取得する際の代替派遣職員の為の宿舎も確保する必要がありますので、現時点においては教職員以外の入居は考えておりません。	教育課
15	喜久里 猛	町長2期目の行政運営について	大田町政2期目がスタートしたわけだが、ハード部門については、これまで以上にやってくれると思うが、ソフト面において職員のプロ意識の問題がある。公僕たる職員の意識について、具体的な事は考えているか。 (例) ・儀間～山城～真我里の街灯の向きは？ ・大雨時の災害適用範囲の雨が降った後、久米島全域の調査をしているか？ ・前年の様な不正事件は、二度とあってはならないがその対策は？	町長	職員の意識改革への取り組みについては、一人一人の職員が町民の奉仕者としての能力を高めつつ、町民の立場に立ち、責任を自覚して職務を遂行できるよう職場指導体制の強化や職員研修などを実施しています。 また、横領事件による再発防止策につきましては、コンプライアンス研修の実施による職員の意識改革と、公金を扱う部署のチェック体制強化を図り、このような問題が二度と発生させないよう、万全を期していく所存であります。	総務課
16		白瀬川公園の東側への渡り道路について	西側の公園は使用されているが、東側は道路状況が悪くほとんど利用されていない。ホテル展望台から渡り道路を設置したら利用者が増えると思うが、又、この公園の管理課はどこか？	町長	ホテル展望台から渡り道路(人道橋)を設置すれば利用者は増えると考えます。 費用対効果を求められます補助事業等の導入はかなり難しいと思いますが採択要件が合う、メニューがないか関係機関と協議をいたします、管理課は環境保全課です。	環境保全課

平成30年6月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
17	仲村 昌慧	自主財源の確保について	<p>自主財源の多い少ないは、行政活動の自主性と安定性を確保しうるかどうかの尺度となることから、できる限り自主財源の確保に努めるべきものとされている。</p> <p>本町の自主財源比率は27年度は19.3%、28年度は18.4%で0.9ポイントの減となっている。減少した要因は何か。自主財源確保の取り組みを伺う。</p>	町長	<p>ご指摘のとおり、平成27年度に対し、28年度の自主財源比率は0.9%下がっております。自主財源比率は歳入決算総額から、税、負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰越金等の合算額を除いた割合となります。平成27年度においては宮崎駿先生からの寄付金3億円があったことにより自主財源比率が一過性で伸びており、前年度の26年度が16.4%ですので、下がった28年度と比較すると2.0%の伸びとなっております。今後におきましてもふるさと納税の寄附金等のPRを積極的におこない自主財源の確保に努めてまいります。</p>	企画財政課
18		冷凍冷蔵コンテナの整備について	<p>去る、4月24日に経済5団体と町議会との意見交換会の中で、漁業組合から議会に対して、「冷凍冷蔵コンテナの整備を推進してほしい」と要望があった。過去に花卉農家からも要望があったと思うが、早期に冷凍冷蔵コンテナを整備することができないか伺う。</p>	町長	<p>冷凍コンテナの整備につきましては、久米島漁協と久米商船と協議した結果、久米島漁協の設備等が整えば台車付き冷凍コンテナを載せることで調整済みとなっております。</p> <p>冷蔵コンテナの整備につきましては、5月28日に沖縄県花卉園芸農業協同組合（太陽の花）宮城組合長と協議した結果、今後協力して県へ要望していくこととなりました。</p>	産業振興課
19		県民投票について	<p>「『辺野古』県民投票の会」が5月23日より署名集めを開始した。県民投票には、少なくとも有権者の50分の1の署名による条例制定が必要である。また、市町村の協力が不可欠であるといわれている。県民投票を巡っては賛否両論あるが、町長の見解を伺う。</p>	町長	<p>県民投票の賛否については、現時点において判断材料が少ないこともあり、まだ決めていません。署名集めを含め県内世論の動向を見極めたいと判断したいと考えています。</p>	総務課
20	赤嶺 秀徳	新設パークゴルフ場について	<p>現在、新設工事中のコースは、先の執行部の説明では、お年寄りや子供等がプレーを楽しめるように、全てがフラットに設計されている。完成すればお年寄りや子供も楽しくプレーが出来るとの触込みでした。ところが完成直前のコースを見ると、高低差があり既設のコースと何ら変わらないように思われる。そこで3点について伺う。</p> <p>(1) コース設計の変更があったのか。否か。</p> <p>(2) あったとすれば、議会への説明をしたのか。</p> <p>(3) コース内の芝の張替があったが、その費用は、町と業者のどちらが負担するのか。</p>	町長	<p>(1) コースの設計変更はございません。</p> <p>当初から9ホールで設計・施工しておりますが補助金交付申請時に関係機関との協議を重ねた結果、魅力あるコースを作るようアドバイスもあり多少高低差が付きまして、しかし子供やお年寄りでもプレーのできる緩やかな高低差と考えています。</p> <p>(2) 設計変更はないため議会等への説明は行っていません。</p> <p>(3) 請負契約に基づき業者負担で施工しています。</p>	環境保全課

平成30年6月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
21	赤嶺 秀徳	防災無線について	防災無線が、現在のアナログからデジタル化に向けて作業中と思うが、その進捗状況について2点伺う。 (1) 予算の確保は十分に出来そうか。 (2) 何年度をメドに事業採択の計画か。	町長	予算については、防衛省民生安定事業において平成31年度採択に向けた概算要求に必要な関係書類の提出を終えています。 県内の5自治体が平成31年度新規採択を要望していることから、予算の平準化を図るため事業期間を4年間としています。	総務課
22		嘉儀山地区の下水道敷設について	嘉儀山地区の下水道は、本管ルートが、イーフ処理場から農道を経て銭田集落、美栄橋、山中橋を通り、県道を経て儀間、嘉手苅までの計画である。平成27年度までに銭田までの本管布設はほぼ終え、平成28年度は銭田集落内の本管、支線配管等を実施し、平成33年度までに山城地区の敷設工事を完了する計画である。儀間、嘉手苅地区については、平成32年度に実施設計、平成34年度から工事着手を計画しているとの答弁を受けた。その後の下水道敷設に向けて、計画どおりに進んでいるか、その進捗状況について伺う。	町長	嘉儀山地区の下水道につきまして、銭田地区から県道に向け山城地区への計画通り進めておりますが、平成28、29、30年度の町事業費予算要望額192,000千円に対して、県の内示額が平成28、29年度は約50%、平成30年度は41.7%と事業費80,000千円の内示額となっております。現在は銭田橋から銭田公民館までの区域内布設工事が完了しており、交付金の減額に伴い進捗状況が2~3年遅れおります。今後、県補助等を見ながら進捗して行きたいと思っております。	上下水道課
23		民事事件の進捗状況について	平成29年に発生した。元町職員による不祥事案の被害回復についての民事訴訟の進捗状況について伺う。	町長	民事訴訟の進捗状況についてお答えします。 損害賠償請求事件の訴訟代理人委任契約を平成30年4月9日付で顧問弁護士に委託し、現在訴状の最終確認を行っており、近日中に訴状提出を行う予定です。	総務課
24		職員の窓口対応とコンプライアンスについて	職員の窓口業務の対応について、町民からは良くなりつつあるが、未だかつて一部職員の対応について不愉快を感じるとの意見がある。そこで2点について伺う。 (1) 窓口職員に限らず、職員に対する指導等は、どの程度、どの様に行っているか。 (2) 全体の奉仕者としての理念を臨時職員を含めて全職員が兼ね備えているか。	町長	(1) 職員に対する指導等については、昨年度において接遇研修やコンプライアンス研修を行いました。 (2) 平成30年度は非常勤職員を対象にコンプライアンス研修を実施する予定です。職員一人一人が町民の奉仕者としての能力を高めつつ、町民の立場に立ち職務を遂行できるよう資質向上に努めてまいります。	総務課
25	喜久村 等	公民館建設について	久米島町内で、耐用年数が過ぎた公民館が多数あるが、各字の区長さんから公民館建設について要望はなかったか。 本町として、今後の公民館建設について伺う。	町長	現在4自治会から要望・要請があります。 今後の公民館建設については、自治会が建設費用の1割負担が可能であれば補助事業で対応できるよう取り組んでいく予定です。 また、人口減少等もあり、単独での建替えが困難な場合が想定されますので、近隣の自治会が共同で利用する「地区公民館」としての整備についても検討していきます。	総務課

平成30年6月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
26	喜久村 等	長期不登校の児童、生徒について	<p>30日以上不登校の児童、生徒の実態はどうなっているか。</p> <p>長期不登校になっている主な理由、原因は何か。</p> <p>それらの児童、生徒に対する対応はどうなっているか。</p> <p>改善され登校に至った例にはどんなものがあるか。</p> <p>長期不登校の児童、生徒については、担任や学年主任、養護教諭などの対応に加えて、「登校支援センター」を設置し、常駐する教員や支援員、カウンセラーで生活支援や学習補充を行いながら在籍校への登校を促す施策を取っている市町村もあり効果を上げているが、本町ではいかに。</p>	教育長	<p>6月1日現在で、小学生は該当者はありませんが、中学生は3名の生徒が、30日以上欠席しております。</p> <p>長期欠席の理由についてですが、中学生3名に共通するのが学校の集団生活や家族間でコミュニケーションが上手に取れないことなどの理由が考えられるとの報告を受けております。</p> <p>長期の不登校生徒がでた場合には、学校、福祉課、教育委員会の関係者等で組織するケース会議を開催し、状況の共有と対応策等について話し合いを行っております。</p> <p>昨年度不登校であった生徒が、保健室登校から次第に登校できるようになり、修学旅行などの学校行事への参加をきっかけに、今は完全に登校復帰をしております。</p> <p>不登校児童生徒の集団生活への適応や学校復帰を支援することを目的とする登校支援センターについては、那覇市や浦添市などの都市地区に適応指導教室として設置されており、常勤指導員、非常勤指導員、臨床心理士等の職員が数名配置されております。しかしながら、本町においてそのような施設を設置することについては難しいと考えております。</p>	教育課
27	棚原 哲也	県道の整備について	<p>イーフ地区の県道の整備について、施工時に街路灯の撤去がなされ施工完了区間において街路灯の設置がなされていなく非常に暗い状況にあり、既設の街路灯についても光力が弱く歩行者にとって支障をきたしている。街路灯の設置及び取り替え時期について伺いたい。</p>	町長	<p>イーフ地区のLED防犯灯設置については、平成29年度の完了を予定しておりましたが、当該地区は観光地であり、町の景観形成重点地区となっていることから、地区に相応しい防犯灯としてデザインプレートを追加設置することになり、地域との調整に時間を要したことや、追加資材の価格調査等に時間を要したこともあり、平成30年度への繰り越し事業となっております。</p> <p>事業完了日は6月30日を予定しており、完了後、沖縄電力への手続き、検査を経て、供用開始する予定となっております。</p>	建設課

平成30年6月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
28	棚原 哲也	町有施設の活用について	仲里漁港（真泊ターミナル）の利活用計画について伺いたい。	町長	現在、久米島漁協及び工事事業者が施設の一部を利用しています。 今後については海洋深層水研究所で植物工場の実験を行っている事業者が水産養殖と植物栽培をセットにしたアクアポニックスという生産システムを設置したい旨の借用依頼があり現在、担当課が調整しているところです。	総務課
29		観光施設の安全対策について	奥武島の畳石側の階段式護岸は勾配が急で昇降に危険な状況にある。手摺りの設置等安全対策が急務だと思うが設置の計画はあるか。	町長	畳石階段式護岸への安全対策については、スロープ、手摺り、展望スペース等の設置の検討を行っております。事業メニュー等の財源確保及び沖縄県関係課との調整を図りながら、取り組んで参ります。	商工観光課
30	1安村 達明	町道の拡張整備について	字仲地の生活道路（里道）184番地23～184番地118前の道路で、約150m程度の道路だが、道幅が狭く、生活に大変支障がでて苦慮しているとの事だが、町はこの道路の状況は把握していないのか。早急な整備が必要だと思うが、町の見解は。	町長	当該道路については、3月29日に別の議員からも整備についての確認があり、去る5月7日に現況を確認しております。。ご質問の区間は、延長が約149mとなっておりますが、うち里道が約72m、残り約77m、572㎡が私有地となっております。整備に際しては用地の確保、区間の道路認定、補助事業の確認等含めて検討してまいります。	建設課
31		県道整備について	県道89号線宇根1905番地1前の道路だが、雨が降ると雨水が溜まり大変生活に支障が出ている。 大雨の時は、家の軒先まで汚濁や塵が溜まり、衛生的にも悪く大変な迷惑をこうむっておるが、町は県に対して道路改善の要請はやってこなかったのか。 町の現在までの対応を伺う。	町長	県道89号線については、国及び沖縄県に対し謝名堂から宇根までの区間を歩道拡幅を含めた整備について機会あるごとに要請しております。さらに南部市町村会においても共通問題として、国、県に早期整備を要請しているところであります。	建設課
32		改修後の具志川改善センターの活用計画・方針について	具志川改善センターは、前町長時代に「久米島で結婚式を」との名目で多額な資金を投入し、改修、改善を行ったと思うが、現在の状況はどうなっているのか。 結婚式披露宴は出来る状況にあるのか、今後この施設をどのような形で活用するのか。計画や方針があれば、町の見解を伺う。	町長	平成22年度に臨時経済対策交付金を活用し、島で結婚式ができる環境を整え、町民負担の軽減と島内経済の活性化を図る目的で具志川改善センターの整備を行いました。平成22年から現在までに9件の結婚披露宴が行われております。現在も申込があれば実施できる状況です。今後の活用については、引き続き助成金制度の周知を図りながら施設利用の促進を図る所存です。	教育課